

朝日新聞 2011 (平成 23) 4 月 28 日 (木) ぶらりミュージアム

# ぶらり ミュージアム

## 県立美術館

横向きの像(プロフィール)、ことに女性のそれには、人を魅了する独特の美しさが宿る。婦人像の名手として知られる岡田三郎助(1869~1939)は、その「横顔の美」に、生涯を通じ特別な関心を寄せ続けた画家であった。

本作は昭和11年の文展に出品された「婦人半身像」(東京国立近代美術館蔵)の下絵で、塗り重

### 繊細・深みある色彩 完成作に継承

「婦人半身像」  
下絵

ねによる繊細で深みのある色彩と、柔らかさと緊張感を併せ持つ線描の魅力は、そのまま完成作に受け継がれている。

岡田は明治30年、29歳の時フランスに留学する。その留学中の作に横顔の聖母像の模写があり、また古代のレリーフやコイン等(その意匠に横顔があしらわれている)を参考にしたとおぼしき彫刻作品も残されている。これらから岡田はかの地の「横顔の美」に惹かれていたことが分かる。岡田が描く美しい横顔には、遠く古代から連なるヨーロッパの美の伝統と様式が反映されているのである。

(県立美術館 学芸員)  
野中耕介



23 佐賀市城内1の15の  
電話0952・24  
・3947。バス停  
「博物館前」下車、徒  
歩1分。開館は午前9  
時半〜午後6時。休館  
日は月曜。

作者・岡田三郎助/制作・1936(昭和11)年/  
パステル紙/62.2㌢×  
47.5㌢/県立美術館所蔵  
/6月5日まで開催して  
いる「佐賀偉人伝刊行記  
念展示 岡田三郎助一優  
美をもとめて 人物画を  
中心に」で展示中